太田市社会福祉協議会
広報紙
つながる通信
Vol .120
発行日
2023年3月10日

「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」

５年後、１０年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

取 材 先　綿打地区　おかあさん人形劇

「おかあさーん」「はーい!」という元気な掛け声から始まる、おかあさん人形劇。
ぐんまこどもの国、こども園、保育園、児童館、図書館、福祉施設などで出前公演を行っています。
始まりは39年前。幼稚園のお別れ会で「親から子供たちにプレゼントできるものはないか」と秋葉さんと市橋さんとの立ち話がきっかけです。
「人形劇」という卒園のプレゼントをもらった子供たちが大きくなって舞台袖に来るようになり、舞台に出るようになり、孫たちも参加するようになり、今でも何世代にも愛される活動となっています。
秋葉さん、市橋さんと外園さんは初期からのメンバーです。
会員は、実際に人形劇を観て感動して入会した方、旦那さんや母親から勧められて入会した方など様々ですが、長く愛され続けている「おかあさん」たちの「つながり」の場所となっています。
１４人のメンバーで活動していますが、「参加できる人が参加する」という活動スタイルです。

地域のお宝発見　～太田市生活支援体制整備事業～

代表　秋葉（あきば）　憲子（のりこ）さん

子供たちのために何かやりたいね。と生まれたおかあさん人形劇。

ささやかな活動でしたが、かわいいもみじのお手々から大きな拍手をもらった時の感動が、今でもおかあさん人形劇の元気の素になっています。いつまでも「おかあさーん、ハーイ」と元気な声で始まる活動をしていきたいと思います。

市橋（いちはし）　歌子（うたこ）さん

秋葉さんとの立ち話から始まった人形劇。子どもたちも４０代になりました。

この年になってもワクワク出来るのは、ありがたいと思います。

子供たちや孫も一緒に活動できて良かったし、自分が誘った人が楽しそうに活動しているのを見ると嬉しいです。

外園（ほかぞの）　久美子（くみこ）さん

おかあさん人形劇には結成当初から参加しています。

長く続いているのは、おおらかな秋葉さんの人柄。キッチリしているリーダーだと会員が動きにくくなるけれど、ゆったりできるので長く続ける事ができています。

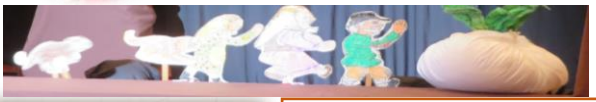
篠塚（しのづか）　恵子（けいこ）さん

公演を見て感激し１５年前から参加しています。

市橋さんとは隣組です。他のメンバーも同じ地区の人が多いので地域交流の場にもなっています。

上岡（かみおか）　恵美子（えみこ）さん

一緒にご詠歌を習っている市橋さんから話を聞いて１０年くらい前から活動しています。活動することで元気をもらっています。



人形、小道具などは全て秋葉さんの手作りです。
人形の服はお孫さんが着ていたものや古布を再利用しています。

劇の台本は絵本を元に秋葉さんが作っていますが一部分を空欄にしておきます。練習で確認しながら投げかけ、みんなで空欄を埋めながら台本を作っていくのがおかあさん人形劇流です。練習は早川のいずみ会館で行っています。

☆チェックポイント☆

元々は卒園する子どもたちの為にと始めた会が３９年経ち、おかあさんたちのやりがい、つながりの場になっています。

コロナ禍で入場者数が制限され、以前よりは賑やかさも減ってしまいましたが、生き生きと輝くおかあさんたちの、あたたかいつながりの場所になっていました。

地域のお宝情報を募集しています!
「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけ合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします!

詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会　地域福祉係
〒373-0817　群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208　FAX 0276-46-6229